

# 平成26年度予算見積調書

課室名 産業支援課  
 担当名 新産業企画・創業支援担当  
 内線 3735

単位：千円

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
B26	先端産業実用化開発事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	次世代産業支援費			
事業期間	平成26年度～平成30年度	根拠法令	なし				戦略項目分野施策	07	世界水準の中小企業		
							030102	新たな成長を導く次世代ビジネスの振興			
<b>1 事業の概要</b> ものづくりの場が海外に移転する中、国内に付加価値の高い先端産業を育成するため、研究機関や企業、大学等の先端技術や研究シーズ等を生かした実用化開発を国と連携して戦略的に進め、産業活性化、雇用創出、税収増加に結びつける。  (1) 先端産業研究サロン運営事業 8,712千円 (2) 先端技術マッチング支援事業 70,895千円 (3) 先端産業実用化開発事業 408,678千円				<b>5 事業説明</b> (1) 事業内容 ア 先端産業研究サロン運営費（月1回） 8,712千円 先端産業の実用化開発のテーマを選定するため、研究者等の集うサロンを運営する。 イ 先端技術マッチング支援事業 70,895千円 先端技術を有する研究機関等と県内企業のマッチング支援を行う。 (ア) 企業情報データベースの戦略的活用 (イ) コーディネーターの配置 (ウ) 県内企業向け先端産業参入支援セミナーの開催 (エ) アイデアソン・ハッカソンの開催 公募メンバーによる製品化へのアイデア出し、製品化する企業ネットワークの形成 ウ 先端産業実用化開発事業 408,678千円 先端技術を生かした研究開発への補助  (2) 事業計画 平成26年度～30年度 成長分野の選定、先端技術マッチング支援、製品開発支援  (3) 事業効果 理研や本田技術研究所、大学等の先端技術等を生かした新産業の育成・集積が図られ、県内産業の活性化、雇用創出、税収増加に繋がる。  (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ア 理研や本田技術研究所、大学等の先端の研究機関や民間企業と連携を図る。 イ アイデアソン・ハッカソンにおいて、公募のメンバーによる製品化のアイデア出しを行い民間の活力を活用する。							
<b>2 事業主体及び負担区分</b> (県10/10)											
<b>3 地方財政措置の状況</b> なし											
<b>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員</b> 9,500千円×2人=19,000千円											
要求額・審査額		繰入金	諸収入					一般財源	前年との対比	過去の予算額 (一般財源)	現計予算額
決	488,285	488,275	10					0	488,285		
要前	488,285 0	488,275	10					0 0	488,285		

**【審査の考え方】**

先端産業の創造、育成による県内経済の活性化のため、先端産業研究サロンや研究開発への助成等の必要性を認め、要求額を措置した。

# 平成26年度予算見積調書

課室名 産業支援課  
 担当名 産学連携・新エネルギー産業担当  
 内線 3917

単位：千円

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
B24	先端蓄電システム研究開発プロジェクト推進事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	次世代産業支援費			
事業期間	平成25年度～平成27年度	根拠法令	なし				戦略項目 分野施策	07 世界水準の中小企業 030102 新たな成長を導く次世代ビジネスの振興			
1 事業の概要	<p>エネルギーの地産地消を進めるには、蓄電池の高性能化や蓄電池を運用したスマートグリッドシステム技術の確立が必要不可欠である。</p> <p>そこで、県内中小企業と大学との連携により推進する先端蓄電池及びエネルギーの最適利用を図るスマートグリッド蓄電システムの研究開発に対し補助を行う。</p> <p>いち早く実用化を図り、蓄電池及び蓄電システム産業への県内中小企業の参入を促進する。</p> <p>(1) 先端蓄電システム研究開発プロジェクト推進事業 157,294千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>平成25年度に「新産業研究開発プロジェクト推進事業」にて公募により採択し研究開発拠点の整備を進めた先端蓄電池及び蓄電システムに係る研究開発プロジェクトについて、研究開発拠点の拡充及び研究開発の推進のため、補助を行う。</p> <p>ア 補助事業者 早稲田大学、三菱電機、新神戸電機、県内中小企業5社</p> <p>イ 研究開発拠点 本庄早稲田国際リサーチパーク</p> <p>ウ 研究開発内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複数住宅向け定置用リチウムイオン電池の開発 実効容量2倍・長寿命・高安全性を実現する複数住宅向けの大型定置用蓄電池を開発する。</li> <li>・スマートグリッド向け蓄電システムの開発 既成市街地にも適用可能なエネルギーの最適利用を図るスマートグリッド蓄電システムを開発する。</li> </ul> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 平成26年度事業費 研究開発経費補助金 150,650千円、コーディネーター設置費補助金 6,144千円、事務費 500千円</p> <p>イ 全体計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度 研究開発拠点の整備、研究開発開始</li> <li>・平成26年度 研究開発拠点の拡充、研究開発実施</li> <li>・平成27年度 研究開発実施、エコタウン地内での実証実験実施、開発製品の完成</li> <li>(平成28年度 開発製品の生産体制整備)</li> <li>(平成29年度 スマートグリッドシステムの生産・販売)</li> </ul> <p>(3) 事業効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究開発に県内中小企業の参画を得ることにより、蓄電池及び蓄電システム産業への参入促進と技術競争力の強化が図られ、本県産業が活性化する。</li> <li>・先端蓄電池及びスマートグリッド蓄電システム等の埼玉発の実用化モデルを発信できる。</li> </ul>							
2 事業主体及び負担区分	(県10/10)										
3 地方財政措置の状況	なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×2人=19,000千円										
要求額・審査額		繰入金						一般財源	前年との対比	過去の予算額 (一般財源)	現計予算額
決	157,294	157,294					0	81,544		75,750	
要前	157,294	157,294					0	81,544		うち一財 75,750	
	75,750						75,750			75,750	

### 【審査の考え方】

先端蓄電池及びスマートグリッド向け蓄電システムの実用化による県内経済の活性化のため、産学官連携による研究開発プロジェクトの必要性を認め、要求額を措置した。

# 平成26年度予算見積調書

課室名 産業支援課  
 担当名 新産業企画・創業支援担当  
 内線 3735

単位：千円

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
B27	航空・宇宙産業への参入支援事業			一般会計	商工費	商工業費	商工振興費	次世代産業支援費			
事業期間	平成26年度～平成30年度	根拠法令	なし	戦略項目分野施策			07 世界水準の中小企業 030102 新たな成長を導く次世代ビジネスの振興				
1 事業の概要	自動車や電機産業を支えていた高度な加工技術等を持つ県内中小企業を、航空・宇宙産業に参入できるように支援するとともに、県内に航空・宇宙産業を集積させる。  (1) 航空・宇宙産業への参入支援事業 58,201千円 (2) 航空・宇宙産業技術開発支援事業 101,308千円			5 事業説明 (1) 事業内容 ア 航空・宇宙産業への参入支援事業 58,201千円 ・埼玉県産業振興公社による販路開拓支援事業 県内中小企業の航空産業への参入を支援する。 (イ) 参入アドバイザーの設置 (2人) (ロ) 国内外の展示会への出展支援 (ハ) 航空機部品製造等に関する認証資格取得支援 (上限1,500千円、10件程度) (ニ) 航空・宇宙産業参入セミナーの開催 (5回) (ホ) 航空関連企業データを活用した参入マッチング イ 航空・宇宙産業技術開発支援事業 101,308千円 ・技術・製品開発支援事業 航空部品製造技術の向上や製品化に必要な研究開発費を補助する。(上限20,000千円、5件程度)  (2) 事業計画 ・平成26年度 企業マッチング・新規参入支援、参入企業の事業拡大 ・平成27年度 主要品の技術提案 ・平成28年度～ 主要品の受注、航空・宇宙関連企業の成長と集積  (3) 事業効果 自動車や電機産業を支えた高度な加工技術などを持つ県内中小企業が、今後成長が期待される航空産業へ参入することにより、経済の活性化、雇用創出、税収増加が期待できる。  (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 (公財)埼玉県産業振興公社及び航空機等を製造する県内企業と連携して事業を実施							
2 事業主体及び負担区分	(県10/10)										
3 地方財政措置の状況	なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×1人=9,500千円										
要求額・審査額		繰入金						一般財源	前年との対比	過去の予算額 (一般財源)	現計予算額
決	159,509	150,009						9,500	159,509		うち一財
要前	159,509 0	150,009						9,500 0	159,509		

### 【審査の考え方】

県内中小企業の航空・宇宙産業への参入による県内経済の活性化のため、参入アドバイザーによる支援や研究開発への助成等の必要性を認め、要求額を措置した。

# 平成26年度予算見積調書

課室名 企業立地課  
担当名 国際経済担当

内線 3745

単位：千円

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
B43	アセアンマーケット参入推進事業			一般会計	商工費	商工業費	販路拡張費	国際経済協力交流費			
事業期間	平成25年度～平成28年度	根拠法令	なし	戦略項目分野施策			07 世界水準の中小企業 030101 がんばる中小企業の応援				
1 事業の概要 県内企業の進出ニーズが高いベトナム、タイにおいて「経済交流に関する覚書」を締結した。これを踏まえ、平成26年度は、新たにタイにデスクを設置する等、現地政府等との協力関係を活かした進出支援策を展開し県内企業の海外進出を促進する。 (1) ベトナムビジネスサポートデスク等 7,410千円 (2) 現地ネットワークの強化 2,400千円 (3) ベトナム政府内「埼玉デスク」運営 3,040千円 (4) アセアン相互訪問 5,737千円 (5) アセアン県訪問団 11,951千円 (6) タイビジネスサポートデスク運営 16,676千円 (7) 戦略的ビジネスマッチング 13,200千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア ベトナムビジネスサポートデスク等運営 7,410千円 ・ベトナムビジネスサポートデスク運営（通年、アドバイザー1人）及びコーディネーター配置 イ アセアン現地ネットワーク強化 2,400千円 ・サポートデスクを核として、現地ネットワーク組織の更に拡大 ・タイ100社、ベトナム（ホーチミンを含めて）100社 ウ ベトナム政府内「埼玉デスク」運営 3,040千円 ・ベトナム政府内に埼玉県内企業専用のデスクを設置し、現地進出の支援の強化 エ アセアン相互訪問（ベトナム、タイ） 5,737千円 ・現地政府の協力を得て、ベトナム、タイと経済訪問団の相互派遣を行うことで、経済交流を促進 オ アセアン県訪問団の派遣【新規】 11,951千円 ・知事、副知事、部長、職員が4回訪問 カ タイビジネスサポートデスク運営【新規】 16,676千円 ・タイ（バンコク）に新たにデスクを設置し、県内企業の海外進出の支援 キ アセアン戦略的ビジネスマッチング【新規】 13,200千円 ・公社にマッチングコーディネーター（1名）及びベトナム、タイビジネスサポートデスクにネットワーク推進員（各1名）を配置  (2) 事業計画 ・平成26年度 8月 タイバンコクにおけるデスクの立ち上げ、及びホーチミンネットワークの設立 ・平成26年度～28年度 現地支援の実施、ネットワーク組織の拡充  (3) 事業効果 県内企業のアセアンでのビジネス展開を促進  (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ・ベトナム、タイ政府と協力し、県内企業の進出支援を行う。							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)											
3 地方財政措置の状況 なし											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×2人=19,000千円											
要求額・審査額								一般財源	前年との対比	過去の予算額 (一般財源)	現計予算額
決	60,414							60,414	34,812		25,602
要前	60,414							60,414	34,812		うち一財
	25,602							25,602			25,602

### 【審査の考え方】

アセアン地域への県内企業の進出を促進するため、タイでのビジネスサポートデスクの設置など県内企業のビジネス展開を一層支援する必要性を認め、要求額を措置した。

# 平成26年度予算見積調書

課室名 金融課  
担当名 企画・制度融資担当  
内線 3803

単位：千円

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
B47	中小企業制度融資利子補給費			一般会計	商工費	商工業費	金融対策費	中小企業制度融資事業費			
事業期間	昭和29年度～平成41年度	根拠法令	埼玉県事業資金制度要綱ほか			戦略項目分野施策	07 世界水準の中小企業	030101 がんばる中小企業の応援			
1 事業の概要 県が金融機関に対して利子補給を行うことにより、各種の目的に対応した融資制度を設け、地域経済を支える県内中小企業者の金融の円滑化を図るもの。 県経済の発展のため、県内中小企業者への資金繰り支援をさらに充実することが必要である。  (1) 中小企業制度融資利子補給費(新規分) 333,870千円 (2) 中小企業制度融資利子補給費(継続分) 1,732,499千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 融資枠 3,600億円 (うち利子補給対象資金 2,500億円) イ 利子補給額 2,066,369千円 (ア)平成26年度の新規融資実行分に対する利子補給 333,870千円 (イ)平成25年度以前の融資実行分に対する利子補給 1,732,499千円  (2) 事業計画 ア 基準金利改定及び融資期間別利率導入により中小企業者の金利負担を低減し、企業戦略の多様化を支援する。 イ 中小企業者のニーズに対応した制度融資の見直しにより、中小企業者の円滑な資金調達を支援する。  (3) 事業効果 中小企業者の金融の円滑化、県経済の活性化  (4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 商工団体(商工会議所・商工会)や金融機関による広報活動や融資相談など  (5) その他(平成26年度の主な変更事項) ア 基準金利改定により、低金利の状況下における融資利率を市場金利に連動させる。 イ 10貸付を融資期間別利率とし、3年以内は0.2%、3年超5年以内は0.1%をそれぞれ5年超の金利から減じる。 ウ 融資実績を勘案して、実績の伸びている起業家育成資金と事業資金(短期貸付)の融資枠を50億円ずつ増やし、枠に余裕のある経営あんしん資金の融資枠を100億円減らすことにより、融資枠全体としては平成25年度と同額の3,600億円としてニーズに対応する。							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)											
3 地方財政措置の状況 地方交付税措置											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.4人=13,300千円											
要求額・審査額								一般財源	前年との対比	過去の予算額 (一般財源)	現計予算額
決	2,066,369							2,066,369	△ 411,792	23 3,417,497 (3,417,497)	2,478,161 うち一財
要前	2,066,369							2,066,369	△ 411,792	24 3,468,566 (3,468,566)	2,478,161
	2,478,161							2,478,161			

- 産業労働部・B47 -

### 【審査の考え方】

県内中小企業への資金繰り支援の充実を図るため、融資利率の引き下げや融資期間別の利率設定など制度融資改正の必要性を認め、要求額を措置した。

# 平成26年度予算見積調書

課室名 就業支援課  
 担当名 若年者就業支援担当  
 内線 4538

単位：千円

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B84	若者正規雇用化拡大事業			一般会計	労働費	労政費	雇用促進費	若者正規雇用化拡大事業		
事業期間	平成26年度～平成28年度	根拠法令	雇用対策法第5条	戦略項目分野施策			04 雇用の安心 020201 就業支援と雇用の拡大			
1 事業の概要	<p>中小企業に関する情報不足や交流機会の乏しさから、都内の大企業志向の若者が多い。</p> <p>そこで、県内中小企業に若者の目を向けるため、ビジネス基礎研修や県内企業での体験雇用を織り込んだ集中支援を行い、正規雇用に結び付ける。</p> <p>また、経済団体や私学団体等と連携し、学生向けの集中的プロモーションと大規模なマッチングを実施し、県内企業の人材確保を支援する。</p> <p>(1) わかもの仕事チャレンジ事業 290,345千円                      (2) 夢ある埼玉・就活プロジェクト 51,276千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容                      中小企業の情報不足等で都内の大企業志向になりがちな若者の目を県内中小企業に向けるため、県内中小企業の現場体験や交流を取り入れた就業支援を実施する。                      ア わかもの仕事チャレンジ事業 290,345千円                      若者300人を対象にビジネス基礎研修(1か月)と就労体験(県内中小企業に派遣 3か月)を組み合わせた研修を実施し、知識や技術を習得させて正規雇用に促進する。                      一人一人に合った企業とのマッチングを行うため、「仕事発見ツアー」による職場体験を実施する。                      イ 夢ある埼玉・就活プロジェクト 51,276千円                      県内経済団体や私学団体等と連携し、集中的なプロモーションと大規模なマッチングを実施。スタートアップイベント(5月に1回)、企業徹底研究(5～11月に10回)、面接会等(7～12月に5回)の3段階で展開。</p> <p>(2) 事業計画                      平成26～28年度(各年度)                      わかもの仕事チャレンジ(就職困難若者300人)、夢ある埼玉・就活プロジェクト(3,200人)</p> <p>(3) 事業効果                      ア わかもの仕事チャレンジ事業                      事業参加者300人の7割(210人)以上を派遣先企業等の正規雇用に結び付ける。                      イ 夢ある埼玉・就活プロジェクト                      事業参加者3,200人の約8%(250人)以上を県内中小企業等の正規雇用に結び付ける。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況                      県内経済団体や私学団体等との連携により求人開拓及び若者への事業周知を実施。</p>						
2 事業主体及び負担区分	(県10/10)									
3 地方財政措置の状況	なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×0.7人=6,650千円									
要求額・審査額	繰入金	諸収入					一般財源	前年との対比	過去の予算額 (一般財源)	現計予算額
決	341,621	341,616	5				0	341,621		
要前	341,621 0	341,616	5				0 0	341,621		うち一財

**【審査の考え方】**

若者の正規雇用化及び県内中小企業の人材確保の促進を図るため、ビジネス基礎研修や体験雇用を組み合わせた研修及び県内経済団体や私学団体等と連携した大規模な就活マッチングの実施に係る経費の必要性を認め、要求額を措置した。

# 平成26年度予算見積調書

課室名 ウーマノミクス課  
担当名 推進担当

内線 3962

単位：千円

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
B115	ウーマノミクス推進キャンペーン事業			一般会計	労働費	労政費	労政総務費	就業環境整備促進事業			
事業期間	平成26年度	根拠法令	なし	戦略項目分野施策		11	女性がいきいきと輝く社会の構築 020202 女性のチャレンジ支援と男女共同参画の推進				
1 事業の概要 女性の活躍を応援するとともに県民にウーマノミクスを周知するため、民間企業等と連携し「ウーマノミクス推進キャンペーン」を実施する。 電車の車体広告によりウーマノミクス推進の周知を図るとともに、働く女性への感謝の気持ちを表したメッセージの募集・表彰により、女性応援ムーブメントをつくる。  (1) ウーマノミクス・トレインによるPR事業 15,088千円 (2) 輝く女性への応援メッセージ事業 3,541千円				5 事業説明 (1) 事業内容 民間企業等と連携・協力し、ウーマノミクス推進キャンペーンを実施する。 ア ウーマノミクス・トレインによるPR事業 15,088千円 鉄道事業者と連携し、「ウーマノミクス推進」や「女性の活躍応援」のイメージをデザインした電車の運行による効果的なPR (イ)対象：主に通勤、通学する県民等 (ロ)路線数：2路線 (ハ)運行期間：6か月 (ニ)その他：鉄道事業者の協力による駅ポスターや車内広告を実施 イ 輝く女性への応援メッセージ事業 3,541千円 鉄道事業者等と連携した働く女性への応援メッセージの募集及び表彰 (イ)メッセージの募集・掲載：鉄道事業者、経済団体、ウーマノミクスサイトサポーター会員等と連携して募集を行い、ウーマノミクス・トレイン車内に掲載する。 (ロ)優秀作品の表彰：SAITAMA Smile Womenフェスタで表彰（予定）  (2) 事業計画 ・平成26年 5月～11月（予定） ウーマノミクス・トレイン運行 ・平成26年 5月～7月（予定） メッセージ募集 ・平成26年 8月 メッセージ優秀作品選考 ・平成26年 9月 表彰式（SAITAMA Smile Womenフェスタ）  (3) 事業効果 ア 県内経済団体、鉄道事業者、金融機関など影響力のある企業等の協力による多くの民間企業へのウーマノミクスの波及 イ キャンペーンへによる県民へのウーマノミクスの浸透  (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 民間企業やスポーツチーム、経済団体等と連携する。							
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)											
3 地方財政措置の状況 なし											
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.2人=11,400千円											
要求額・審査額								一般財源	前年との対比	過去の予算額 (一般財源)	現計予算額
決	18,629							18,629	18,629		
要	18,629							18,629	18,629		うち一財
前	0							0			

### 【審査の考え方】

「埼玉版ウーマノミクス」の取組を更に推進するため、鉄道会社との連携によるデザイン電車の運行及び応援メッセージに関する経費の必要性を認め、要求額を措置した。